

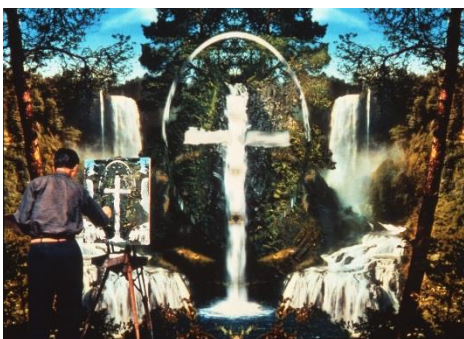
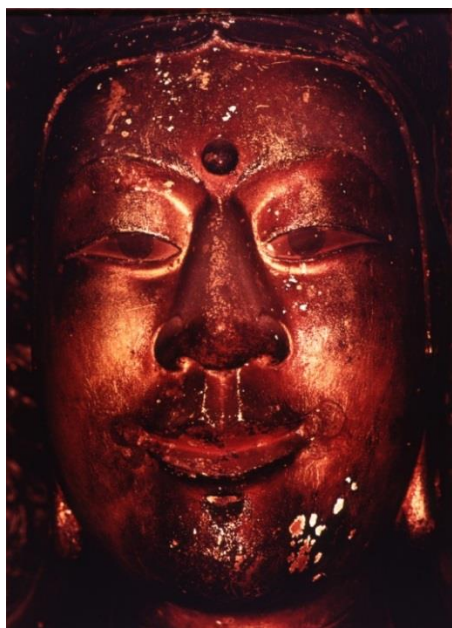
平成26年度 東京都写真美術館コレクション展

スピリチュアル・ワールド

Collection Exhibition 2014: **The Spiritual World**

2014年5月13日(火)ー7月13日(日)

会期中展示替えあり(前期:5/13~6/8、後期:6/10~7/13)



(左上) 1: 土門拳〈古寺巡礼〉より《法隆寺東院夢殿観音菩薩立像(救世観音)面相》 1972年 銀色素漂白方式印画

(左下) 2: 横尾忠則 《皆は一人のために、一人は皆のために》 1993年 テクナメーション

(右) 3: 高木庭次郎 《白糸からの富士山》1910年代 幻燈写真、ゼラチン 乾板に手彩色

会場 東京都写真美術館 3階展示室

主催 東京都 東京都写真美術館

協賛 凸版印刷株式会社

東京都写真美術館

広報担当: 久代、平澤、前原 / 電話: 03(3280)0034

本展は30,000点を超える東京都写真美術館の豊富なコレクションのなかからセレクトした写真作品と映像作品によって、日本の宗教文化や民間信仰と視覚表現の接点をさぐるとともに、スピリチュアルな世界観を背景に独自のヴィジョンを追求してきた写真家／美術家たちの作品表現を紹介します。

伊勢、熊野、富士、恐山、沖縄、インド、天界、秘湯—— コレクション作品による聖地巡礼の旅

日本では古来、森羅万象に「八百万の神（やおよろずのかみ）」が宿るとする信仰をもち、目に見えないものや日常を超えたものの存在を感じるとる感性、神仏を畏れ敬う意識、生きている者と死者の関わり合いを大切にする死生観とともに人々は生きてきました。近代化の過程で失われていった非合理的なものの中には、日常生活や現代社会の価値観にはない未来への手がかりが隠されているのかもしれません。

精神性（スピリチュアリティ）の領域へ。不可視のもの、超越的なものにむかって、感性のチャンネルを開いていくこと。「スピリチュアル・ワールド」には人を浄化し、活性化する力が秘められているはずです。

初出品作品を多数展示

当館には約30,000点を超える写真・映像作品が収蔵されています。本展は展示作品(183点)のうち、約半数が初展示作品で構成されます。有名作家の代表作から新しい一面を発見する作品に出会うことでしょう。シリーズを通して同作家の作品世界を深く堪能することの出来る貴重な機会です。

出品作家

渡辺義雄 石元泰博 鈴木理策 山城知佳子 東松照明
土門拳 土田ヒロミ 石川直樹 内藤正敏 奈良原一高
藤原新也 横尾忠則 三好耕三 ほか

4：土田ヒロミ「続・俗神」より《伊勢神宮舞楽（八仙）三重・伊勢》1987年 インクジェット・プリント 5：石川直樹《Mt.Fuji #28》2008年 発色現像方式印画 6：内藤正敏「婆バクハツ!」より《お籠りする老婆、青森県高山稲荷》1970年 セラチン・シルバー・プリント 7：三好耕三「湯船」より《湯峰 和歌山》2010年 セラチン・シルバー・プリント（※前期のみ展示）



4



5



6



7

展示構成

出品点数：183点（会期中展示替えあり）

01 神域

イメージの内奥に神聖な気配を予感させるイントロダクション。
鳥居やほこら。

世俗から神域へのアプローチを導き出す数々の写真たち。

02 見えないものへ

目に見えぬ神々へ捧げる営み。万物に宿る神の息づかいを感じ取る写真。伊勢神宮の式年遷宮、時を超えて再生を繰り返す神々の在り所。沖縄。神々や先祖たちへの祈り、交流のすがた。

03 不死

不死＝永遠性の象徴。超越的な自然の姿は神の姿を思わせる。
数々の写真家たちによる富士山の表象を中心に展開。

04 神仏

の「古寺巡礼」から、「実物以上に実物」であること
土門拳²した
クローズアップによる諸仏ほか、日本の祭りの極彩色の神々をとらえた土田ヒロミの「続・俗神」など、神仏の多様性や強い存在感。

05 内藤正敏 「婆バクハツ！」

内藤正敏の代表シリーズより生と死の境界をただよう、
特異な信仰の現場を活写した60年代の作品より27点を紹介。

06 奈良原一高 「王国・沈黙の園」「ジャパネスク禅」

50-60年代にかけて、奈良原一高が修道院と禅寺に取材したパーソナルな視点によるドキュメンタリー写真のシリーズ。

07 藤原新也 「全東洋写真 インド」

ガンジス川の水浴、修行者など。藤原新也が80年代に発表（70年代に撮影）した旅行記の代表作より、インドを舞台とした写真作品を抜粋し、23点を展示。

08 横尾忠則 「テクナメーション」

キリスト教や仏教、日本神話など、宗教世界が複雑に混交したヴァイジョンの創造…横尾忠則が90年代に手がけたCGのシリーズ。

09 三好耕三 「湯船」

民間信仰、秘湯。日本各地の温泉地を訪ね歩き、湯船を記録したモノクロのシリーズより23点を展示。癒やし、信仰の対象としての温泉のすがたを想起させる。



8



9



10



11

8：東松照明「太陽の鉛筆」より《西表島》1972年 ゼラチン・シルバー・プリント 9：小石清《富士と桜》1931-40年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 10：藤原新也「全東洋写真・インド」より 1979年 発色現像方式印画 11：鈴木理策《山と海のあいだ 14》2005年 発色現像方式印画

東京都写真美術館のコレクションについて

本コレクション展はすべて東京都写真美術館の収蔵作品から構成しています。当館では写真の黎明期から現代まで質の高い写真と映像に関する作品を毎年収集し、約30,000点を収蔵しています。(2014年3月現在)

担当学芸員によるフロアレクチャー

会期中の第2・第4金曜日14時～

本展覧会チケット(当日有効)をお持ちの上、3階展示室前にお集まりください。

展覧会カタログ

「スピリチュアル・ワールド」

1,800円(税込)

東京都写真美術館ミュージアムショップにて発売。



12: 石元泰博「伊勢神宮 平成5年(1993年)第61回 式年遷宮」より
《内宮 正殿 棟飾》1993年 セラチン・シルバー・プリント
(c)高知県、石本康博フォトセンター

開催概要

展覧会名 平成26年度東京都写真美術館コレクション展 スピリチュアル・ワールド

展覧会英語名 Collection Exhibition 2014: The Spiritual World

会期 2014年5月13日(火)ー7月13日(日) ※会期中展示替えあり(前期:5/13-6/8 後期:6/10-7/13)

会場 東京都写真美術館 3階展示室 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

ホームページ www.syabi.com 電話03-3280-0099

開館時間 10:00~18:00(木・金は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)

観覧料 一般500(400)円/学生400(320)円/中高生・65歳以上250(200)

※()は20名以上団体料金 ※東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および

障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

お問い合わせ

東京都写真美術館

電話: 03(3280)0034 FAX: 03(3280)0033

企画・展示構成担当

石田 哲朗 t.ishida@syabi.com 武内 厚子 a.takeuchi@syabi.com

広報担当

久代 明子 a.kushiro@syabi.com 平澤 綾乃 a.hirasawa@syabi.com 前原 貴子 t.maehara@syabi.com